

片麻痺を伴う脳梗塞患者で頭蓋形成術後に肺塞栓症が生じた 1 症例

岩下 耕平 杉 恭之 生野慎二郎
櫻井 静佳 仁田原慶一 比嘉 和夫

福岡大学医学部麻酔科学

要旨：肺塞栓症は、周術期における重篤な合併症の一つである。われわれは片麻痺のある患者で頭蓋形成術後に肺塞栓症が生じた症例を経験した。患者は63歳の男性で、18日前に脳梗塞で減圧開頭術を施行され、ベッド上でリハビリテーションを行っていた。今回、頭蓋形成術を施行された。手術の16時間後に肺塞栓症となった。肺塞栓発症後、ヘパリンの持続投与と経皮的人工心肺補助が4日間行われた。肺塞栓症による後遺症はなく、肺塞栓症発症後22日目に退院となった。

キーワード：肺塞栓症，脳梗塞，片麻痺，脳外科手術